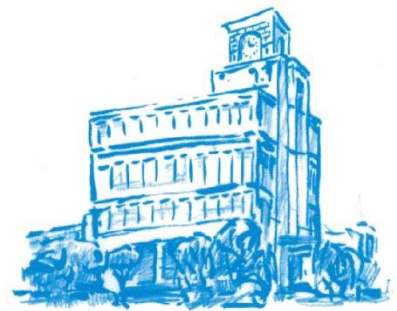


令和5年8月号(No.249)

子ども理解を深めよう  
～2学期を迎えるにあたって～

伊丹市立総合教育センター  
所長 山下 拓志郎

約40日ある夏季休業も、10日ほどが過ぎました。総合教育センターでは、教職員の資質・能力の向上をめざし様々な研修を実施しています。各校においても自校の課題の改善に向けた研修が実施されていることと思います。夏季休業期間は、学期中と比べ比較的時間にゆとりがあり、自らの資質・能力を伸ばす絶好の機会です。



ところで、先生方は、子どもたちが今どのように過ごしているか心においておられますか。全国的に、長期休業明けは、子どもの自殺が多いことから、令和3年8月、文部科学大臣は、教育関係者や保護者に対して『注意を払うべき子どものサイン』として5つ示されました。それは、①これまで関心のあったことに興味を失う、②成績が急に落ちる、③不安やイライラが増し、落ち着きがなくなる、④投げやりな態度が目立つ、⑤健康管理や自己管理がおろそかになる、などです。

先生方は、このような子どものサインを「やる気がない」と捉え、一方的に指導していませんか。これらのサインが見られたときは要注意であり、特に気をつけて見守り、寄り添うことが必要です。まずは、登校してきた子どもたちの表情や様子をしっかりと見てください。そして、気になるサインが見られたら、「よく来たね。顔が見られてうれしい。」と声をかけてあげてください。

子どもたちの中には、学校や家庭に居場所がなく、ネットに居場所を求めネット依存になっている子がいるかもしれません。子どもたちには、自分の存在が丸ごと受け入れられ、安心して過ごせるリアルな居場所が必要です。先生方には、夏季休業をうまく活用し、子どもたちをより多角的に捉えるなど、「子ども理解」を深めていただきたいと思います。そして、先生方が子どもの心のよりどころとなるとともに、学校や学級が居場所となるよう努めていただきたいと思います。

# 2学期に向けて児童・生徒を迎える準備は大丈夫！？

児童・生徒の中には、長期休暇明けに登校しにくくなる児童・生徒もいます。  
各クラスで気になる児童・生徒がスムーズなスタートが切れるように準備を始めましょう

## 登校

不登校の原因として「学校にいやなことがある」  
(友人関係、学業、教師との関係)

### ちょっと登校しにくい 児童・生徒へは・・・

#### ○学校の中で不快に感じる場面を取り除く

得意なこと、好きなことを見出し、その面で関わる  
児童・生徒に活躍の場、安心していられる場を与える

#### ○児童・生徒の問題解決を手伝う

不快に感じていることを、自分の言葉で表現できるようにし、解決策を一緒に考える

#### ○支える体制を整える

児童・生徒を支えてくれる人を増やし、仲間関係を作ることや、  
学校関係者で関わり方を共有し、一緒に関わっていくチームを作って支援していく



## 行動

周りから理解されないと「居場所」がなく  
「居心地」が悪いから、問題行動で周りに気づいてもらい  
「居場所」を作ろうとしています

### 教室での問題行動が気になる 児童・生徒へは・・・

#### ○「変わりたい」という気持ちに共感する

本当は「適切と見なされる行動で居場所を作りたい」という気持ちを持っています

#### ○不適切な行動でも決して見捨てない

不適切な行動で居場所づくりをしようとしても  
「適切な行動で居場所づくりをしようとするあなたを見たい」  
という気持ちで言葉がけをすることを忘れないようにする

#### ○適切な行動は、すぐに褒めて価値づけをする

過度な賞賛ではなく、「それだよ」「待っていたよ」と温かい言葉でさりげなく伝える



## 学習

児童・生徒が何に困っているかを見極めて  
(授業場面だけでなく、日常生活の様子も含めて)

### 授業に遅れ気味の 児童・生徒へは・・・

#### ○児童・生徒の「苦手」に合わせた工夫をする

児童・生徒の苦手を把握したら、それぞれの児童・生徒に合わせた支援を行っていく

#### ○叱らずに、具体的な方法を提案する

できないことを「頑張ればできる」と言われるとだんだん自信をなくしてしまいます  
できないことには、大人と一緒に対応を考えながら「こうしてみたら?」と、  
わかりやすくなるようにやり方を伝える

#### ○自信をつけ、意欲をもたせる工夫をする

苦手なものには、なかなかできたという達成感が味わいにくいものです  
課題を細かく区切って達成感が得られるよう、一つできるごとにほめてあげましょう



前向きに行動するには自信が必要です  
しっかり褒めたり、話を聞いたりして、  
心のコップを自信の水で満たしてあげましょう

# 教育相談のご案内

## 1 教育相談では、お子様に関する様々な悩み、問題に応じております。

- ・学校や幼稚園に行くのをいやがる
- ・いじめが気になる
- ・こだわりが強い
- ・チックがある
- ・集団や仲間に入れない
- ・落ち着きがない
- ・気になる癖がある
- ・発達が気になる
- ・発音が気になる
- ・友だちと遊べない
- ・勉強が遅れがちである
- ・情緒が不安定である
- ・セクハラ・パワハラが気になる

## 2 連絡先

電話 072-772-6171（電話相談）随時/電話 072-780-2484（来所相談）予約制

お子様に関する様々な悩みや課題、問題等の相談に応じています。

（電話相談）平日：9時00分～18時00分（水曜のみ：9時00分～17時00分）土曜：9時00分～17時00分

（来所相談）平日：9時00分～18時00分（水曜のみ：9時00分～17時00分）土曜：9時00分～17時00分

## 3 対象者

伊丹市在住・在学の幼稚園児・小学生・中学生・高校生および保護者・教職員の方ならどなたでも利用できます。

- ・秘密は厳守します。
- ・相談は専門の相談員があたります。
- ・無料です。

## 令和5年度 トワイライト研修のご案内

### 第1回

- ・日時：9月下旬 17：30～
- ・内容：クラスで気になる児童・生徒への関わり方について（仮）

### 第2回

- ・日時：11月下旬頃 17：30～
- ・内容：生成AIについて

### 第3回

- ・日時：1月下旬頃 17：30～
- ・内容：発達特性の理解について（仮）

\*全ての研修をオンラインで実施する予定です

発行 伊丹市立総合教育センター  
所在地 〒664-0898伊丹市千僧1丁目1番  
TEL 072-780-2480  
FAX 072-780-2482

開館日 月・火・木・金：9：00～21：00  
水・土：9：00～17：00  
休館日 日曜・祝日、年末・年始  
総合教育センターHP <https://www.itami.ed.jp>

## 令和5年度連載（ICT活用事例集）

### 第5回 小学1年生 算数 単元「かたちづくり」

#### ねらい

- ・児童の理解の度合いを把握する
- ・理解具合に応じたフォローアップを行う

#### 活用効果

- ・これまで児童の理解度把握には机間指導しかなかったが、タブレット端末を用いて作成した図形の成果を写真で撮り、提出させることで理解が未熟な児童へのフォローが容易になった。
- ・タブレット上で色板の操作をさせると、進捗はより把握しやすくなるが、平面的な思考で留まるため、実物を活用した。

